

問1 障害のある人々を特別視して隔離するのではなく、障害をもたない人々と同じように、地域社会の中で普通の生活を送れる環境を整えるべきであるという考え方。1950年代にデンマークのバンク＝ミケルセンらによって提唱され、すべての人が同じ市民として共に生きる社会の実現を目指す福祉の基本理念を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. インクルージョン                      2. バリアフリー                      3. ユニバーサルデザイン                      4. ノーマライゼーション

問2 現代の生命倫理において、人間の命はそれ自体が神聖不可侵であり、いかなる状態であっても絶対的な価値を有するという立場を指すアルファベット3文字の略称は何か。終末期医療において、回復の見込みがなくても生命を維持する治療を行うべきだとする主張の根拠とされる。（2023年 全国公立入試 類似）

1. QOL                      2. SOL                      3. DNR                      4. ADL

問3 1997年に制定され、脳死体からの移植の道を開くとともに、人道的な観点から、臓器の提供や受領において金銭などの対価を授受することを厳しく禁止している日本の法律は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 臓器移植法                      2. 予防接種法                      3. 母体保護法                      4. 優生保護法

問4 近代科学技術の発展は人間に豊かな生活をもたらした一方で、深刻な環境破壊を引き起こした。これに対し、農薬などの化学物質が生態系に与える危険性を指摘し、人間もまた自然の循環から切り離せない生態系の一部であることを警告して、現代の環境運動に大きな影響を与えたアメリカの生物学者は誰か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. アルド・レオポルド                      2. レイチェル・カーソン                      3. ハンス・ヨナス                      4. ピーター・シンガー

問5 アメリカの社会学者が著書『孤独な群衆』の中で指摘した、現代の大量消費社会において、同世代の仲間やマスメディアなどの他者の期待や好みに自らの行動を同調させようとする社会的性格を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 市場指向型                      2. 他人指向型                      3. 伝統指向型                      4. 内部指向型

問6 現代の医療倫理において、がんなどの生命を脅かす疾患に直面している患者やその家族に対し、身体的な痛みだけでなく、精神的、社会的、さらには人生の意味や価値に関わるスピリチュアルな苦痛（トータル・ペイン）を和らげ、患者や家族の生活の質（QOL）を向上させることを目的とした医療やケアのアプローチを何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 看護ケア                      2. 緩和ケア                      3. 終末ケア                      4. 在宅ケア

問7 現代社会における合意形成や課題解決のプロセスにおいて、多様な視点から新しい発想を得るために用いられる集団発想法がある。この手法では、他者の意見を批判・否定せず、自由奔放に多くのアイデアを出し合うことがルールとされる。この集団発想法の名称として最も適当なものを答えよ。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ブレインストーミング                      2. ディベート                      3. シンポジウム                      4. パネルディスカッション

問8 欲求不満（フラストレーション）が生じた際、無意識のうちに自己の崩壊を防ごうとする心の働きを「防衛機制」という。このうち、抑圧された欲求や感情が意識にのぼるのを防ぐために、それとは正反対の態度や行動を強調してとる心の働きを何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 退行                      2. 同一化                      3. 反動形成                      4. 昇華

問9 幼児に対して「目の前のお菓子を一定時間食べるのを我慢できたら、もう一つあげる」と約束し、その後の行動を追跡することで、幼児期の自制心と将来の社会的成功との関連性を調査した、心理学者ウォルター・ミシエルらによる著名な実験を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. キャッテル実験                      2. シャクター実験                      3. ミルグラム実験                      4. マシュマロ実験

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え 4</b> <b>ノーライゼーション</b>	1950年代にデンマークで提唱されたこの理念は、障害の有無や年齢などにかかわらず、すべての人が社会の一員として区別されることなく、対等に共に暮らせる社会（共生社会）を目指すものである。バリアフリーやユニバーサルデザインなどの具体的な施策や設計思想の根底にある、最も基本的な福祉の理念として位置づけられている。
問2	<b>答え 2</b> <b>SOL</b>	あらゆる人間の生命には絶対的な価値があり、他者がそれを損なうことは許されないとする考え方を「生命の尊厳（SOL：Sanctity of Life）」と呼ぶ。医療現場においては、患者の意識がない状態や回復の見込みがない終末期であっても、可能な限りの延命治療を行うべきだとする倫理的根拠として機能してきた。これに対し、生命の「質」や患者自身の自己決定権、満足度を重視する立場は「QOL（Quality of Life）」と呼ばれる。
問3	<b>答え 1</b> <b>臓器移植法</b>	1997年に制定された臓器移植法は、脳死後の臓器提供を可能にする一方で、臓器の提供や受領において対価を支払ったり受け取ったりする行為（臓器売買）を厳しく禁止している。これは、経済的弱者が不当に搾取されることを防ぎ、人道的な観点から生命の尊厳を守るための規定である。なお、2009年の改正により、本人の意思が不明な場合でも家族の同意があれば臓器提供が可能となった。
問4	<b>答え 2</b> <b>レイチェル・カーソン</b>	近代の人間中心主義的な自然観や科学技術至上主義に対し、人間を自然の一部（生態系の一部）として捉え直す視点を提供した。著書『沈黙の春』は、殺虫剤などの化学物質による環境汚染を告発し、人間と自然の相互依存関係を訴え、環境倫理学の先駆となった。
問5	<b>答え 2</b> <b>他人指向型</b>	リースマンは、人口動態や社会の発展段階に対応して、人々の社会的性格が「伝統指向型」「内部指向型」「他人指向型」へと変化すると説いた。現代の高度消費社会では、他者やマスメディアの動向に敏感に反応し、周囲に同調しようとする「他人指向型」が支配的になるとされる。
問6	<b>答え 2</b> <b>緩和ケア</b>	生命を脅かす病に直面する患者とその家族に対して、身体的苦痛のみならず、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛からなる「全人的苦痛（トータル・ペイン）」を早期に発見・評価し、それらを和らげることで、患者や家族が自分らしく生きられるよう「生活の質（QOL）」を向上させるアプローチを緩和ケアと呼ぶ。これは単に死を目前にした末期医療（ホスピスケア）に限定されるものではなく、診断の初期段階から治療と並行して行われるものである。
問7	<b>答え 1</b> <b>ブレインストーミング</b>	互いの意見を批判・否定せず、自由奔放にアイデアを出し合うことで新しい発想を生み出す手法をブレインストーミング（BS法）と呼ぶ。これに対し、特定の論題について肯定側と否定側に分かれてルールに従って討論し、第三者を説得する手法はディベートと呼ばれる。
問8	<b>答え 3</b> <b>反動形成</b>	抑圧された欲求や感情が意識化されるのを防ぐため、本心とは正反対の態度や行動を強調してとる防衛機制を反動形成という。例えば、好きな相手に対してわざと冷淡に接するような行動がこれに該当する。
問9	<b>答え 4</b> <b>マシュマロ実験</b>	ウォルター・ミシェルらによって行われたこの実験は、幼児期の自制心の強さが将来の学術的・社会的成功を予測する重要な指標になるとされ、長年広く支持されてきた。しかし近年の再検証研究では、幼児が誘惑に耐えられたかどうかは、単なる個人の自制心の有無だけでなく、その子どもが置かれた家庭の経済状況や、周囲の大人に対する信頼感といった環境要因に強く依存していることが明らかになり、初期の結論に対する批判的検証が進んでいる。